

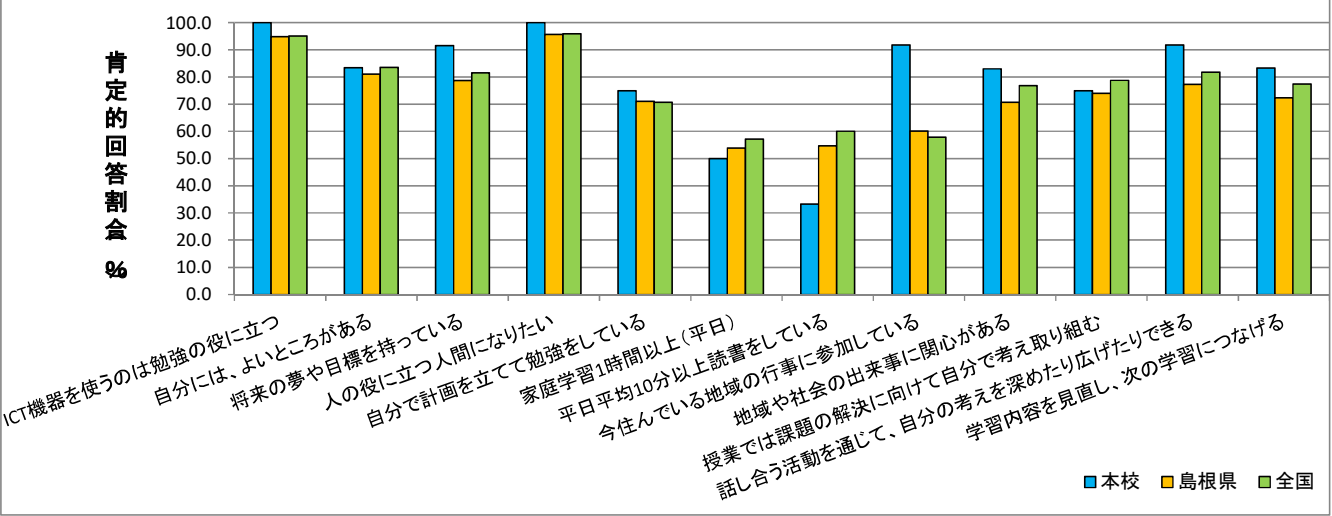
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○複数の資料を読み取り、その内容を使って作文する。 ○話し手の伝えたいことや聞き手の聞きたいことの中心をとらえる。 ●漢字(同音異義語)を書く。 ●文章や図表などを結び付けて必要な情報を読み取る。	・家庭学習で漢字の習得に力を入れる。書写の時間、書き取り会において基礎基本の定着を図り、日々の学習に継続的に生かす。 ・読書(新聞や書籍)や視写等、語彙力を高める取組を行う。 ・文章や資料を読み、情報を読み取る方法を身に付け、伝える活動を設定する。
算数	○基礎的基本的な四則計算(+・-・×・÷)をする。 ○グラフから変化の特徴を捉える。 ●図形の形の意味や性質、特徴を理解する。 ●日常生活と結び付けて問題場面を理解したり、問題文から必要な情報を読み取ったりする。	・図形の性質や算数用語の理解の定着を図る。 ・表・絵・図などを実際に書いて説明する場を設定し、状況の把握や言葉に表す力を付ける。 ・学習したことが生活とどのように関わるのか、どのように使うことができるのか提示したり考えたりし、学習と生活を結び付ける。

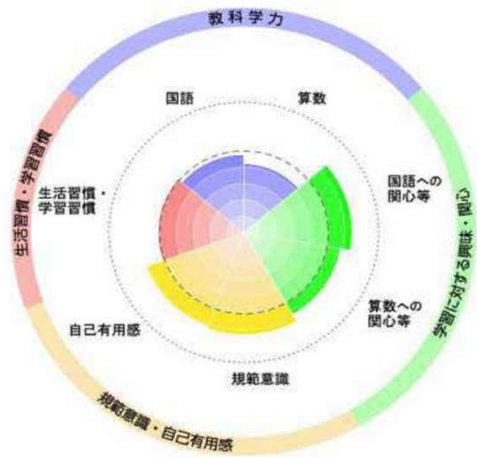
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○地域貢献の意識が高い。 ○話し合い活動を通して、自分や学級をよりよくしていこうと考えている。 ●読書が好きではない児童が半数以上いる。 ●毎日同じくらいの時刻に寝ていない児童が多く、家庭学習1時間以上の児童が少ない。	・読書の習慣化を図る。読書時間を設定したり、借り換えの時間を設定したりする。個々に対応し興味に沿った図書を勧める。 ・話し合い活動を通して、生活時間について自己課題化を図ると共に、実態を家庭に知らせ、連携を取りながら、その見直しを図る。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・校内研究と関連をもたせ、友達との対話を通して学習する良さを実感させると共に、自分の考えを説明する力を付けていく。

【受検者数】
11 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。